

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施状況の公表及び効果検証

(単位:円)

No.	交付対象事業の名称	事業の概要	総事業費		効果検証
				うち新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金	
1	免疫カアップキャンペーン	1/8～3/21までの緊急事態宣言の影響により、観光客が激減し、冬季の観光を基幹産業とする当村では地域経済に大きな打撃を受けた。このため、春スキーシーズンからGWにかけて、全国のお客様を対象に、観光協会及び旅館組合加盟の宿、店舗等で利用できる割引クーポン券を提供することで観光客を呼び込み、地域経済継続のための支援を実施。10,000円のクーポンを7,000円で販売	36,899,500	36,899,000	当該事業の実施により、コロナ禍で観光客の入込が減少していた村内に活気が戻った。また、宿泊施設では長野県が提唱するコロナ対策を施し、観光客にも安心して訪れていただくことができた。 販売実績:10,633冊
2	NOZAWARIキャンペーン	4/25～6/20までの3回目となる緊急事態宣言や蔓延防止重点措置などの影響により、村内の観光事業は底が見えない状況である。冬場をメインシーズンとする当村の観光産業は、新型コロナにより昨冬の実績も振るわなかったことから大変厳しい状況にある。このため、夏から秋にかけて、全国のお客様を対象に、観光協会及び旅館組合加盟の宿、店舗等で利用できる割引クーポン券を提供することで観光客を呼び込み、地域経済継続のための支援を実施。10,000円のクーポン券を6,000円で販売	45,000,000	45,000,000	当該事業の実施により、コロナ禍で観光客の入込が減少していた村内に活気が戻った。また、宿泊施設では長野県が提唱するコロナ対策を施し、観光客にも安心して訪れていただくことができた。 販売実績:10,000冊
3	JR東日本「北信濃MaaS」宣伝補助事業	新型コロナ感染症の拡大により移動の自粛が求められている状況下において、交通事業者、観光事業者など経営状況が大変厳しい状況である。この状況を打開するための一環としてJR東日本が他の交通事業者や、観光事業者等と連携し、善光寺御開帳にあわせて企画する「北信濃MaaS」事業の宣伝費を負担し、御開帳に合わせた観光客の回遊を促し、当村へも観光客を誘導することでアフターコロナの地域経済活性化を図る。	1,400,000	1,400,000	MaaS事業の実施により電子チケットの利便性も認知されつつあり、一定の売上があったことと合わせて、今後の事業展開の足掛かりとなる事業となった。 たけのこ祭りイベント屋台売上 168,000円、野沢温泉ライナー利用実績 165,015円
4	商工団体等会費助成事業	新型コロナ感染症の影響を受けて経営状況が厳しい村内事業者の経済的負担を少しでも取り除くため、商工会、及び観光協会の年会費相当額を個々の事業者に対して助成する。	14,439,500	10,908,000	村内の商工、観光関係団体に加盟する事業者に対して、年会費相当額を補助したことで、コロナ禍において経営状況が厳しい事業者を支援することができた。 商工会加盟:224事業所、観光協会加盟:297事業所、旅館組合加盟:19事業所
5	緊急雇用事業	コロナの影響により職を失った住民を会計年度任用職員として雇用し、雇用の維持を図る。	869,947	869,000	1名(5月～10月のうち101.7日)を雇用し、コロナ禍における雇用を確保することができた。
7	中学校修学旅行キャンセルに伴う費用負担	新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルとなった修学旅行のキャンセル料を補助し、保護者等の経済的負担の軽減を図る。	176,008	3,000	コロナウイルス感染拡大により中止となった修学旅行のキャンセル料を補助し、保護者等の経済的負担を軽減することができた。中学校生徒28人分
計			98,784,955	95,079,000	